銀輪快走へ準備着々

ツール・ド・のと あす開幕

発着点の内灘で会場設営

第23回「ツール・ド・のと400～能登半島一周サバイバル・サイクル2011～」（同実行委、県自転車競技連盟、北國新聞社主催）は17日から3日間、世界農業遺産に認定された能登を中心に石川、富山両県で1351人が参加して行われる。15日は内灘町のコンフォモール内灘でのぼり旗設置などの準備が進められた。

大会は初日の17日が内灘町から輪島市までの約130キロ、2日目の18日が輪島市から七尾市・能登島までの約165キロ、最終日の19日は七尾市を出発、氷見市を経由して内灘町に至る約115キロで行われる。全行程に挑むチャンピオンコースと一日コースが設けられ、36都道府県と台湾の1351人がエントリーしている。

きょうクリニック

16日はコンフォモール内灘で午後3時半から「第23回ツール・ド・のとサイクルクリニック」が開かれる。アテネ五輪ロードレース日本代表の唐見実世子さんらが長距離を走る際に適した自転車の乗り方やマナーなどを指導する。当日参加が可能で、参加費は1人千円。問い合わせはカツリーズサイクル＝076（239）4884＝まで。

のぼり旗を設置するスタッフ ＝内灘町のコンフォモール内灘